リハビリテーション科　4週の研修で経験が望ましい項目（minimum requirement）。

	日付	回数
基本的な面接法・診察法		
一般的診察所見（触診、聴診、視診、打診など）をとった		
神経学的所見（深部腱反射、病的反射、徒手筋力検査、関節可動域など）をとった		
基本動作の評価を行った		
日常生活動作（ADL）の評価を行った		
患者の心理的・社会的問題に配慮して、患者から情報を聴取した		
インフォームドコンセント		
リハビリテーション総合実施計画表についてのインフォームドコンセントを行った		
診断名、リハビリテーション計画、退院・転院後の計画についてわかりやすく説明できた		
患者・家族の了解を得て、治療を行った		
実際の診療行為		
理学療法（運動療法、寒冷療法、温熱療法、電気刺激療法など）の見学		
作業療法（機能的作業療法、日常生活動作、職業前作業療法、心理的作業療法）の見学		
言語聴覚療法（言語、構音、発声、高次脳機能療法）の見学		
義肢・装具の作製と装着の見学		
摂食嚥下に関する検査（嚥下造影検査、嚥下内視鏡）および、摂食嚥下療法の見学		
研究・学術		
症例報告を行った		
抄読会に参加		
抄読会で論文の読解・紹介をおこなった		
リハビリテーション関連のガイドラインを読んだ		